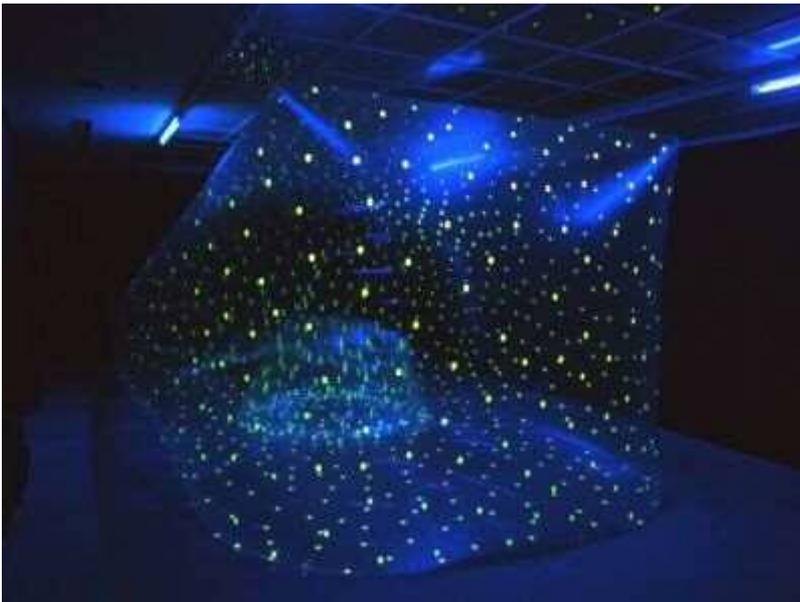


カンディンスキー展と同時期に愛知県美術館ではちょっとした個展も開催されます。大西康明さんという若手アーティストの展覧会「体積の裏側」です。本日、大西さんが名古屋入りしました。これから約3週間かけて本展のために作品制作をします。

大西さんは実は以前にも愛知芸術文化センターで作品展示をしたことがあります。4年前に「新進アーティストの発見 in あいち」美術部門に入選し、愛知芸術文化センター12階で、巨大なウミウシのようなものが暗闇に光り輝きながら収縮する作品を発表しました。



↑《restriction sight AAC》、2007年、ポリエチレンシート、蛍光塗料、FAN、ブラックライト、その他

今回も、4年前の作品と同じくダイナミックで空間自体を変えてしまうような作品を作る予定です。さあ、どんな結果になるのでしょうか。どうぞ皆様ご期待ください。



↑ からっぽの部屋で考え中

(F.N.)